

《資料館便り》

平成 27 (2015) 年

1 月号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

相次ぐ、学校利用！

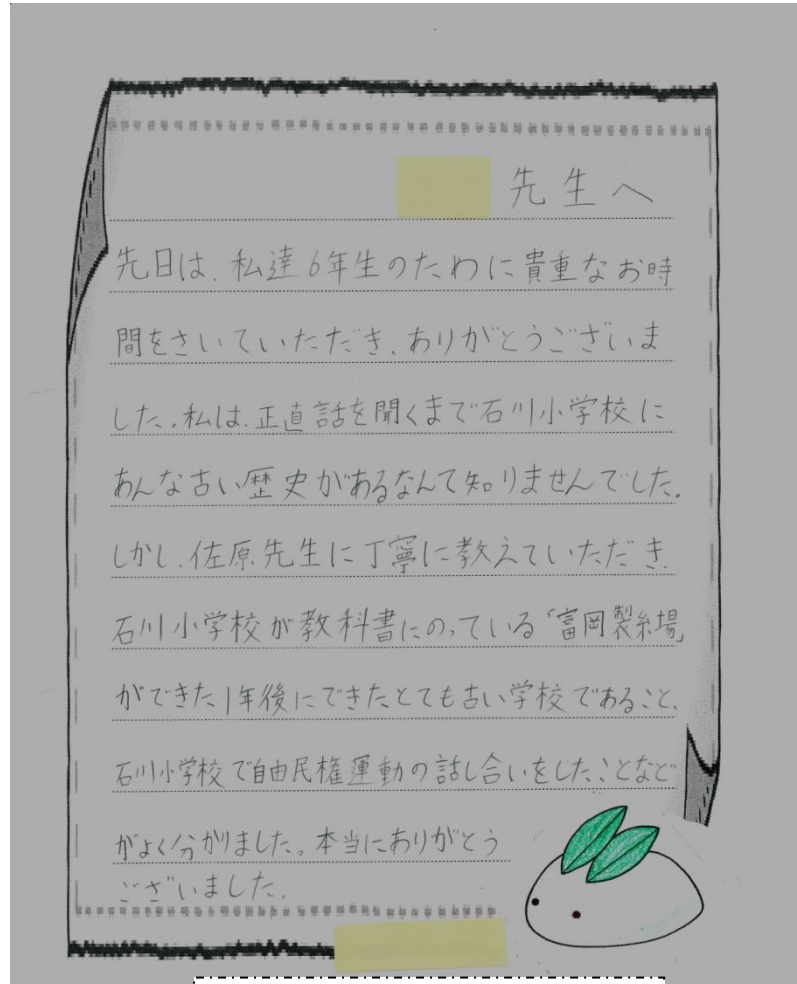
○資料館の重要な役割の一つに教育の分野があります。中でも、児童生徒を対象としたものは、将来の社会を担う人々の育成といった観点から大変重要です。他県からの学校を含め、今年度も小中高、多くの学校が来館しました。

鉱物や民俗・歴史資料を実際に見たり、触れたりすることで、教室での授業とは違った角度から深い学びを体得できれば幸いです。



↑ 鉱物研究者の話をも熱心に聞く小学生
この後、鉱物にも実際にふれました。

↓ 明治時代の資料などを使って、自分たちの「学校の歴史」を学習する。



↑ 見学後の感想文(小学校6年生)

○石川小学校6年生は、今年度当館が実施している学校古書類調査で発見された、同校の明治10年代の「学校日誌」をもとに、学校の歴史や石川地方の自由民権運動について学びました。

○当館では先生方のご希望にお応えできるよう、事前に学習のねらいや内容について、綿密な打ち合わせを行います。各学校のご利用をお待ちしております。

石川小学校の明治10年代「学校日誌」⇒

